

第18号特集！

課題研究発表会 & 併合科学習発表会

今年も課題研究発表会と併合科学習発表会が行われました。今年は日曜日に行われたということもあり、観光の方などにもお越しいただきました。本号では載せきれませんが、今年は2年生司会、1年生は各分野の発表を行いました！直接お越しできなかった方の為に少しでも3年生の発表をご紹介しますと思います。

「節減対象農薬を使用しない野菜の栽培」 池谷芹菜

一般的な化学薬品を原料とする殺虫剤や除草剤などを節減対象農薬と呼ぶ。それを使用せずに、天敵を用いて病害虫を防除する方法で研究を行った。(つまり無農薬ではないが節減対象農薬は使用していない。)夏野菜と冬野菜に分け栽培を行いバンカー法、せつけん水、手作業などを活用し防除。

また、夏野菜の栽培時の反省を生かし冬野菜はすべてネットの中で栽培したところダイコン・ハクサイ・キャベツ・ブロッコリー・ニンジンに節減対象農薬を一切使用せずに収穫までたどり着くことができた。冬野菜を害虫から守りきった時は大きな達成感を実感することができた。



「椿の可能性を求めて～油粕の利用法について～」 中村歩夢

今回、椿油の製造過程で排出される油粕に注目し、その利用法を見出すため、調査実験を行った。元肥として使用したものと油粕の抽出液を希釈し散布した肥料実験、油粕を置く殺虫忌避実験、大島高校の採卵鶏の飼料に油粕を添加した飼料実験を行った。肥料実験では枯死してしまった。殺虫忌避実験ではナメクジに効果が出たが使用量が多いため実用化は難しい。飼料実験では油粕を添加した飼料は食べたが何らかの理由で卵が小型化してしまった。今後さらに探求する必要がある。また枯死したことから除草効果が期待できるのではないかと考える。



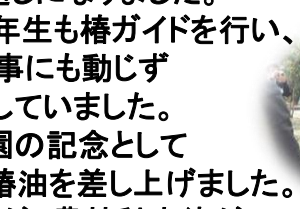
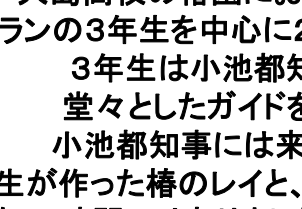
「高校椿園の管理と活用方法に関する研究」 浜田黎明

今回椿の魅力を発信し、本校椿園への来場者が増えることで、大島の観光を活性化させるため実践を行った。まずツバキを綺麗に見せるためには日々の管理が重要であると考え、椿花ガーデンの山下社長にご指導頂きながら管理作業を実践した。また後輩達に引き継いでもらえるよう、管理マニュアルを作成。その他に園芸教室、出前授業、広報活動、椿ガイドを行いたくさんの方々にツバキをアピールした。今回の研究は決して一人でできるものではなく皆さんのご支援があったからこそだと感じた。今後も大島高校椿園を暖かく見守って頂きたい。



【都知事大島高校椿園訪問】

1月29日椿祭り初日に、東京都知事の小池百合子さんが大島高校の椿園にお越しになりました。ベテランの3年生を中心に2年生も椿ガイドを行い、3年生は小池都知事にも動じず堂々としたガイドをしていました。小池都知事には来園の記念として1年生が作った椿のレイと、椿油を差し上げました。短い時間ではありましたが、農林科生徒が準備から本番まで関わることができ、とても良い機会だったと思います。3年生の椿ガイドを見て何かを感じたのか、1年生の中ではお気に入りの椿を見つけている生徒などもいて、これからの椿ガイドに繋がってくれれば嬉しいです。



こんなところでも...

農林科では都知事だけでなく、たくさんの方たちに椿ガイドを行っています。最近では新潟県、加茂市の椿ツアーの皆さんや、番組の撮影で来園したヨネスケさんにガイドしました。このようにガイドの経験をたくさん積み、より良いガイドを目指しています！

加茂市の皆さん

ヨネスケさん



3年生さくらプロジェクト！

毎年1年生の時に「割接ぎ」という方法で増やした桜を3年生が卒業記念植樹として校内に植えています。個体差はありますが、接いだ当初はとて小さかった苗が立派に根を張り強く成長していました。今後さらなる桜の成長が楽しみです！



椿園公開中です！
ぜひお越しください！



発行：東京都立大島高等学校 農林科
東京都大島町元町字八重の水127
04992-2-1431
農林科ホームページ公開中
<http://www.osima-h.metro.tokyo.jp>